

ごみを減らすために私たちができること

1 生ごみの水切り



生ごみの約80パーセントは水分といわれています。生ごみの水分をよく切ることで、ごみの減量はもちろんのこと、悪臭・腐敗などの防止にもなります。また、ごみの重量が減ることにより、収集車の燃料使用量やCO₂排出量が抑えられ、環境負荷の低減にもつながります。

ここでは、生ごみの水切りにおける3つのテクニックを紹介します。



水に濡らさない

野菜の皮をむくときやヘタを切るときは、野菜を洗う前に行いましょう。



乾燥させる

茶殻やティーバッグは、水気を絞り、乾かしてから捨てましょう。



捨てる前に絞る

生ごみを水切りネットなどからごみ袋に移す前に「ぎゅっと」絞りましょう。



2 生ごみ処理機器を使う



生ごみを減らすために生ごみ処理機器を利用してみませんか。生ごみ処理機器とは、機械的な操作や微生物などの働きにより生ごみを減量化・堆肥化する機器です。生ごみの分量を大幅に削減でき、また堆肥として、家庭菜園やガーデニングなどに役立ちます。

生ごみ処理機器の購入費を補助しています



市では、ごみの減量化と資源化を図るため、家庭用の生ごみ処理機器の購入費を補助しています。

▶対象機器

- ①コンポスト容器※有効容量70リットル以上
- ②EMボカシ容器
- ③電気式生ごみ処理機

▶補助金額

購入金額(税抜額・100円未満切り捨て)※①・②は1基につき上限3,000円、③は15,000円

▶申請期限 3月10日(金)まで(土・日曜日、祝日を除く)※予算額に達した場合は、受付期間中でも終了します。

申請方法などの詳細は、市ホームページをご覧ください。

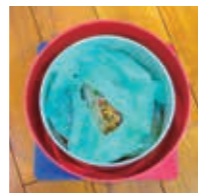


▶問い合わせ 環境課 ☎556-9530

利用者インタビュー (電気式生ごみ処理機)



秋山 昌子さん (渡柳)



■購入したきっかけは?

前から生ごみの量が多く、捨てに行くのがひと苦労だったことや生ごみの臭いが気になっており、購入を検討していました。カインズホーム行田店に行ったときに、市が生ごみ処理機器購入費補助金の出張申請受付をやっており、そこで補助金が出ることを知り、その場で購入しました。

■使用して良かったことは?

驚くほど生ごみが軽くなり、減量したことで、ごみ捨てが楽になりました。また、気になる臭いは、全くなりなくなりました。もう少し暖かくなってきたら、この堆肥となった生ごみを家庭菜園の肥料として利用したいと考えています。

ごみ分別マニュアル・ごみ出し検索機能をご活用ください



ごみの出し方や地区別の収集日一覧表などが掲載されたごみ分別マニュアルを市民課および環境課で配布しています。英語版や中国語版などの外国語版もあり、市ホームページでも閲覧できますので、ぜひご活用ください。

また、昨年1月の市ホームページリニューアルに伴い、「ごみ出し検索機能」が追加されました。ごみの分別方法と収集に出す際の注意事項を50音で検索することができます。市公式LINEアカウントのリッチメニューからも該当ページへアクセスできます。

市公式LINEリッチメニュー

【ごみ分別マニュアル】

【ごみ出し検索】

市で収集・処理できないもの

- ・石、土、砂(ペット用を含む) ・タイヤ
- ・ピアノ(電子ピアノを除く) ・自動車部品 ・オートバイ
- ・ブロック類 ・消火器 ・薬品 ・畳 など



処理するには、購入した販売店に引き取ってもらうか、廃棄物の許可を受けた業者に有料で処分を依頼してください。※業者については、環境課へ問い合わせまたは、市ホームページをご確認ください。



家電リサイクル法対象品

テレビ(液晶・プラズマ式含む)、エアコン、洗濯機、冷蔵庫、冷凍庫、衣類乾燥機

の6品目は、家電リサイクル法によりごみとして集積所に出せません。

処分する場合はリサイクル料金が掛かります。処分方法など詳細については、市ホームページをご確認ください。



ごみを減らす4R運動

市では、ごみの減量化のため「4R運動」を推進しています。4Rとは、ごみを減らすためのRではじまる4つの行動のことです。私たち一人一人の意識と行動がごみの削減へとつながります。今日から4R運動を実践し、環境に優しい生活を送りましょう。

4R

1.Refuse (断る)

リフューズ

- マイバッグを持ち、過剰な包装やレジ袋を断る。
- マイ箸・マイボトルを持参する。

2.Reduce (減らす)

リデュース

- 買い物は、事前に冷蔵庫を確認し、必要なものだけ買う。
- 洗剤やシャンプーなどは詰め替え商品を買う。
- 食品ロスを減らす

4.Recycle (再資源化)

リサイクル

- 段ボールなど資源として再利用できるものは、資源物として分別する。
- コンポストなどを利用し、生ごみを堆肥として使う。

3.Reuse (再使用)

リユース

- 自分が必要なくなったものは、人に譲ったり、リサイクルショップやフリーマーケットを活用したりする。
- 着なくなった下着を雑巾にするなど用途を変えて使用する。